

定例教育委員会会議録

(平成27年6月5日開催)

岡谷市教育委員会

定例教育委員会会議録

日 時 平成27年6月5日(金)

午後1時30分

場 所 市役所6階 603会議室

署名委員 岩本教育長 倉田職務代理

【次 第】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 報 告

1. 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について【資料No. 1】 (教育総務課)

・交流行事等について

・田中小学校の改修工事について

2. 岡谷西部中学校改修事業について【資料No. 2】

3. 平成26年度の長期欠席・いじめの状況について (教育総務課)

4. 岡谷市やまびこ国際スケートセンター指定管理者の再選定について【資料No. 3】

(スポーツ振興課)

○ その 他

・行事等について

(各課)

・その他

【次回開催予定】 7月6日(月) 定例教育委員会 13時30分 603会議室(庁舎6階)

出席委員

教育委員長 草間 吉幸、職務代理者 倉田 啓子、教育委員 小野 繁男、

教育委員 橋爪 園美、教育委員 太田 博久、教育長 岩本 博行

事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、生涯学習課長 小坂 英之、生涯学習課副参事 鮎沢 要一、

スポーツ振興課長 小松 厚、教育総務課主幹 山田 勝由紀、

教育総務課主幹 両角 秀孝、教育総務課主幹 小口 邦子、教育総務課主幹 高橋 卓、

教育総務課主査 伊藤 清和

<会議録>

○開 会

委員長： それでは、ただ今より6月の定例教育委員会をはじめます。先日岡谷小と神明小の運動会があり、見学をさせていただきました。子どもたちの一生懸命な姿を見ることができました。来年度からは新しい学校に行くわけですが、子ども達がいつも笑顔で運動会へ臨めるよう我々も応援をしていきたいと思えます。

本日の署名委員は、岩本教育長と倉田委員にお願いします。

最初に、教育長報告をお願いします。

○教育長報告

委員長の挨拶にもありましたが、小学校2校の素晴らしい運動会があり、とても感動しました。明日も5校で運動会がありますが、委員のみなさんにも引き続き是非ご参加いただいて、子ども達の一生懸命な姿をご覧いただければと思います。

私からは2点を報告させていただきます。

・アクティブラーニング

これは、新しい学習指導要領の方向として打ち出されている学習方法であります。先生が講義形式で一方向的に教え込むのではなく、子どもたちが主体的に、そして互いに協力して学習すること。具体的には、問題解決学習、体験学習、調査学習等があり、討論やグループ学習も有効な学習方法であります。岡谷市では既にこの取り組みが進んでいるが、一層、学力向上推進委員会を中心に「授業力」を高めていきたいと思えます。

・ユニバーサルデザインを取り入れた授業

よりよい子ども理解や学級経営を土台とした授業づくりとして、どの子にも「分かる」「できる」「楽しい」などを具現していきます。

授業のユニバーサルデザイン化、ユニバーサルデザイン授業などとも言いますが、7月末に行われる悉皆の教職員研修会において、このことをテーマに取り上げ研修を深める予定です。

これから委員さん方と一緒に学校を訪問して、実際に授業を観る機会があるかと思えますので、是非このアクティブラーニングと、ユニバーサルデザインがそれぞれの教室の中で位置づいているか、そういったところも授業参観の一つの見所になると思えます。そんな点からも頭に入れて置いていただければと思います。

草間委員長： 今のお話について何かありましたらお願いします。

倉田職務代理： 私たちも何度も学校を訪問させていただき、授業参観をしています。ただ授業を参観するのではなく、こういった内容を示していただくとありがたいです。小学校は本当にこんな工夫をされているのかというのがあり、子ども達が目をきらきら輝かせている、これが中学校まで続くといいなと思っています。

太田委員： 非常に興味深い一つの方向性だと思います。講義として教える以上に、先生の力量が必要と受け取れます。先生方がいろいろな形で研修をしているいろいろな鍛錬が必要なのだなと思えますので、大変だと思いますが、是非しっかりやっていただいて、中身の充実したものにしていただきたい。

草間委員長： 中学校の方がアクティブラーニングの取り組みが難しいのか。

岩本教育長： 取り組みが難しいのではなく、中学校では先生が子ども達にしっかり教えなければいけないという意識が強くなってしまっている面があると思う。先生方もそれだけではいけないとわかっていても何をどのように変えていけば良いかということが、明確になっていない。中学に行ったときにこういうものを取り入れなさいではなく、何をどのようにすれば良いか一緒に考える機会を

大事にして、具体的には子ども総合相談センターの先生方に授業をみていただいて、アドバイスをしてもらっている。校長にもこのことを意識していただいているので、中学校でも子ども達が目を輝かせてアクティブな授業が展開できればと思います。

草間委員長： 板書について、どういったところを見るのが一番良いのですか。

岩本教育長： ぱっとみて、その授業がどんな内容だったか、今日勉強した内容がわかるものが一番良いと思います。3、5分でもこんな狙いで、こういうことがわかったのだなというのを感じられて、そこに学びの足跡があるととても素晴らしいものだと思います。

小野委員： 小学校、中学校で行われた全国一斉の学力試験があり、その中には各自が家庭でどんな生活をしているのかと言った調査もありましたが、それを担任がチェックして、対応されているといった状況なのですか。

岩本教育長： 全国学力学習状況調査は一人ひとりの子どもにコメントが戻ってきます。先生方もその結果を見ながらその学級、学年の状況を把握して、課題、良いところ、生活について改善していくことをはっきりさせていくことが大事だと思います。点数よりもそういったところを見るのがより重要だと思います。

小野委員： ビデオを何回見ているみたいな項目もあったと思いますが、それについて国から平均がこうだから、こうですよといったフィードバックがあるのですか。

岩本教育長： あります。かなり細かくフィードバックがあります。

倉田職務代理： 太田委員のご家庭でもそういったものがありましたか。

太田委員： ありました。細かくそれぞれの項目で1つひとつ出ているので、参考になりました。普段の生活、時間の使い方など詳しく項目として挙げられていました。

小野委員： 昔の通知表にあった内容と似ているのですか。

太田委員： それよりももっと細かく詳しいものだと思います。

倉田職務代理： 先生は忙しいと思いますが、忙しさ以上のものが来た場合にそれを学年でサポートするとか、そういった体制はあるのですか。

岩本教育長： 小学校は6学年、中学校は3学年の担任が一番大変だが、当然その先生だけに任せるのではなく、学校体制のなかで応援して行きます。ただ、最終的にそれを生かしていくのは自分の担当している子ども達なので、担任に頑張っていただかないといけない部分はあります。チーム体制でやるようにはなっています。

橋爪委員： 是非この方向性で岡谷の教育が力強く進んで行くと良いと思います。

さらに、忙しい先生がいかに積極的に参加してもらえるか、モチベーションにつながる工夫、小さなアイデアの寄せ集めになるとと思いますが、アイデアに賞をつけて、お名前付きでそのノウハウを残して冊子にすると良いと思います。日野市ではそういった取り組みをしているので、岡谷でもそんなことができれば良いと思います。ただ単に力を入れるだけでなく、先生方の意欲につながるようなひと工夫があれば良いなと思います。

岩本教育長： モチベーションが大事なので、委員さんの言っていることは良くわかります。工夫の引き出しがぱっと分かる程度のものがあれば良いなと思います。ユニバーサルデザインというが、何をどういう風にといったことは具体的には出ていません。中身をもう少しお互いに共通理解をして、アイデアを書き留めながら学校の財産としていくというのはこれから取り組むべきことだと思います。

橋爪委員： 去年学校訪問に行った際に、すばらしい板書をされていて、それをみなさんにも見ていただきましたが、あれもその学校にとどまらず、こんな良い取り組みがありますよということで、ご苦労されている先生がすぐにアクセスできるものがあれば良いなと思います。

岩本教育長： そういった点を大事にしていきたいと思います。

橋爪委員： とかく取り組みにくい子どもへ目を向けがちだが、もっとわかりたいという子にも目を向ける必要もあると思います。先生方の力量というか、どういう工夫をされるか今後大事だと思いますので、何かサポートができれば良いと思います。

岩本教育長： 教育委員会のなかで授業を観る機会にでも、ご意見をいただいて、生かせるところがあれば生かしていきたい。

草間委員長： 7月から学校訪問が始まるので、これをよくご理解いただきながら訪問に臨んでほしい。

草間委員長： それでは、本日は議題がございませぬので、報告事項に入ります。

○報告

1. 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について【資料No. 1】

(教育総務課)

草間委員長： 報告事項1「岡谷小学校統合計画の取り組み状況」について事務局より説明をお願いします。

<事務局より資料 No. 1に基づいて3校の交流行事、統合推進委員会、各部会の内容等を説明。田中小については増改築工事の内容を説明。>

草間委員長： ただ今の内容について、質問や意見はありますか。

小野委員： 統合推進だよりを見ると本当にご苦労されているというのが伝わります。まだ、これから先もいろいろありますが、落ちの無いように進めていただきたいと思います。

田中小学校の改築の件で、統合により先生方が増えると思いますが、その分の駐車スペースが確保されていないように思いますが、大丈夫ですか。

両角主幹： 体育館西側のプール外構工事のところで一定のスペースを確保できると思います。

岩本教育長： 車はどこから入りますか。

両角主幹： 校門の方から、今は体育館と田中線側の隙間が狭いですが、ここを車が通れるスペースを確保していきたい。

岩本教育長： 一方通行のところからも入れますか。

両角主幹： 入れますが、かなり入り口が入りづらいかもしれません。通り抜けはなんとかできそうだという話を聞いています。

岩本教育長： 今朝、現地を見て来ましたが、広げれば大丈夫だと思います。

倉田職務代理： 3校の交流の様子が新聞でもたくさん取り上げていただいているので、市民のみなさんも学校で交流を活発にやって、統合の準備が進んでいるんだなと感じていただいているのではないのでしょうか。

草間委員長： 各学校の見守り隊などのパトロールや、放課後居場所づくりの部分での交流は進んでいるのですか。

小坂課長： 昨日市内全校の居場所づくりコーディネーター会議があり、その後に統合3校のコーディネーターが集まり、詰めをしているところです。夏休み中に3校合同のマレットゴルフ大会を実施し、カレーをみんなで食べる予定です。放課後の授業なので、普段は3校が集まっての実施は難しいが夏休みを利用してやりたいと思います。

草間委員長： パトロールの地域分けはどうなりますか。

両角主幹： まだ具体的なことは決まっていますが、学校の先生にお聞きしたところでは、毎年岡谷区の交通の部会に校長先生が行ってご挨拶をしているようであります。今年は田中小の校長と教頭が岡谷小の校長と一緒に岡谷区の交通部会に行ったとお聞きしています。

草間委員長： 岡谷小の関係者からは来年も継続してやりたいというお話を聞きました。また、是非一緒に見守り隊も安全点検をしたいという希望も聞きました。

太田委員： 神明小では、先月岡谷小の区域まで行って安全確認をしたという話を聞いています。

PTAが主導権を取って、どうやっていくというのを進めていくという段取りなのではないかなと思います。

草間委員長： 学区ごとの点検など進められる部分があれば早めに進められれば良いと思います。

岩本教育長： あかしあパトロールのみなさんも是非一緒に継続してやろうということで話が盛り上がったと聞きました。意欲的な動きが見られている。委員長の言うように安全対策は早め早めに動いた方が良いと思います。

2. 岡谷西部中学校改修事業について【資料No. 2】

(教育総務課)

草間委員長： それでは、続きまして、報告事項2の「岡谷西部中学校改修事業」について、事務局より説明をお願いします。

<事務局より資料No. 2に基づいて改築工事の内容について説明>

草間委員長： 改築事業について説明をいただきました。ただ今の内容について、質問や意見はありますか。

倉田職務代理： 延焼ラインとは何を示すのでしょうか。

両角主幹： 火事を想定した延焼しやすい範囲を示したものだと思います。

山田主幹： 県道側には両側に歩道が確保される予定です。

草間委員長： 工事中の子どもの通学路の確保はどうしますか。

両角主幹： まだ詳細をつかんでいませんが、一斉に県道を止める工事ではないと思います。歩道、車道で分けて工事をするようになると思いますが、細心の注意を払ってやっていただければと思います。

倉田職務代理： 歩道橋の位置が現在の位置ともう少し違う所にあると良いと思いますが、この工事とは関係ないですね。

山田主幹： 幅の関係で歩道橋は掛け替えます。県としてももう少し位置をずらしたいということもあるようですが、用地交渉がうまくいかないのが、現状とあまり変わらないと思います。ただ、歩道の幅が1.5mのものを2mにして、自転車も渡れるようにといった調整をしているようであり

幅が広がることで雪かきも少し楽になるので、そういった面も県にお願いをしています。

3. 平成26年度の長期欠席・いじめの状況について

(教育総務課)

草間委員長： 次に、報告事項3「平成26年度の長期欠席・いじめの状況」について、事務局より説明をお願いします。

<事務局より長期欠席、いじめの件数、内容等について説明>

草間委員長： ただ今の内容について、質問や意見はありますか。

小野委員： 長期欠席児童の理由のその他が、7割程度を占めているが、この部分はどんな内容ですか。

岩本教育長： 欠席の理由には家庭的な事情、父母が苦勞されている家庭、その他には、複数の要因、つまり、単なる病気だけでなく、家庭的な苦しさがあったり、父母が心の病を持っていたりといろいろな状況がある場合にその他を設定している。岡谷市の場合、その他が増えているということですが、これは、欠席の理由が単純なものではない、多岐にわたる理由があり、学校でもなかなか改善が難しいという部分であります。100日以上欠席者には、その他に該当する人がほとんどであります。長期欠席が年々下がってきたのですが、このところ頭打ちになっているのは、その他に該当する子が多いというのが、一番の理由かと思えます。これからどういう支援をしていったら良いのかみんなでも知恵を出し合っているわけですが、学校、それから行政も教育委員会だけではなく、福祉や子ども課などいろんなところと連携していかないとはいけませんし、医療という面からのケアも必要ですし、そのためにもスクールソーシャルワーカーの先生や、カウンセラーといった専門的な立場から助言をいただいで取り組んでいます。

小野委員： 不登校はどっと減っているが、分類がより実体に合わせた分類に変わったということですか。不登校と長期欠席の定義を確認させてください。

岩本教育長： 不登校は子どもが学校に行けない状態になります。他市と違う部分は非常に精査して、専門的な目からも見ていただいて、理由を分析するなかで、欠席の理由が複数有る場合にはその他に分類されるわけであり

小野委員： 以前はそういった分類ではなかったのですか。

岩本教育長： 以前も分類は同じでしたが、複数の要因が見えなかったという部分があります。このところが非常にわかりにくい部分であります。国の分類がこういった形で示されているので、県もそうしているが、我々としては不登校という字を取ってしまって、その子に原因がある、家庭に原因がある、周りの環境に原因があるとした方が単純でわかりやすいと思います。

岩本教育長： 子どもだけが原因ではなく、家庭的な理由によるものがたくさんあります。

橋爪委員： 2月に行った子ども総合相談センターとの懇談のなかで、教えていただきましたが、それが今の話につながっています。あの懇談を踏まえて私たちもサポートができればと思います。

岩本教育長： 県の不登校専門の先生が来られたときに岡谷市はしっかり対応ができていたといったお褒めの言葉をいただいているが、まだまだ私たちの努力でその数を減らすことができるのではないかと、子どもの自立支援委員会、教育支援チーム会議など色々と立ち上げて知恵を寄せ集めて対応しています。どの子も学校に来て楽しく勉強ができるという支援は必要だと思っています。

草間委員長： この子たちを減らす対策を打っていかないといけないと思いますが、この対応策を考えていくのが、行政の責任だと思います。

岩本教育長： 一つの対策として、家庭がどうあっても、子どもがしっかり学校に行く意思を持っていれば行くことができる。スクールソーシャルトレーニングによって、人間関係力をつけるとか、自己肯定感を高めるということは、自分の底力を高めることになります。そういったものをしっかり持っている学校に行きやすくなる。どの子も不登校になる可能性があるという前提で全員の子どもにそういった力をつけてあげる必要があるのではないかと、一生懸命取り組んでいます。

倉田職務代理： 自己肯定感を持っている子は、いじめを他の人に訴えることができるとあったと思います。

太田委員： その他に入らない不登校とはどんな内容か。

小口主幹： 簡単に言えば、本人が夜寝るのが遅くて、友達と少しトラブルがあって学校に足が向かないといったものなどがあります。

橋爪委員： これは重大な問題だと思っていますが、子どもが自分で糧を得て、自立して行くところを担っていかないといけないが、なかなか良い展望を持ってない事例を抱える中で、そうなる医療の助けが重要だと思いますが、以前懇談でも話があったと思いますが、その後はどうなりましたか。

小口主幹： 医療と連携すれば絶対的に子どもが救われるわけではないので、誰かが子どもをしっかり見ているよという環境をつくっていくということが大事だと思います。医療だけでは駄目なので、支えていくと言う部分を重視して行きたいと考えています。

橋爪委員： バランス的にもう少し医療の部分もということはありませんか。前回の定例会でも岡谷病院の院長が精神科を充実させていく方向性を考えてくださっているといった新聞記事を見かけるなかで、是非子どもの部分も、今後教育のニーズを伝えていきながら良い方向性が見出せると良いなと思いますがいかがですか。

小口主幹： そういったことがあればありがたいですが、日々の関わり、家庭との関わり、学校や地域の力の大事さというところで今すごく粘って、頑張っているところです。

橋爪委員： 重い症状で医療に相談したほうが良いのにかかるところが無いという事例はありますか。

小口主幹： 本当に困っているというのは今のところ無いと思います。

橋爪委員： 岡谷病院に定期的に教育のニーズを伝える機会があれば良いなと思います。

倉田職務代理： ここで医療が関われば、先生だけでは解決しないことがうまくいくのではと思います。病院も新しくなるので、その点ですごく期待をしています。

橋爪委員： 受け入れのできる病院もありますが、距離があって支障があったりするので、是非市の病院で対応できればと思います。

4. 岡谷市やまびこ国際スケートセンター指定管理者の再選定について【資料No. 3】 (スポーツ振興課)

草間委員長： 続いて、報告事項4「岡谷市やまびこ国際スケートセンター指定管理者の再選定」について、事務局より説明をお願いします。

<事務局より資料No. 3に基づいて説明>

草間委員長： ただ今の内容について、質問や意見はありますか。
特に無いようですので、それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

・その他

＜次回開催日の調整等＞

草間委員長： ただ今の内容等について、質問や意見はありますか。

橋爪委員： 子育てフォーラムがこの前開催されましたが、教育の側からはどなたかが出席していますか。

吉澤部長： 子ども課の主催事業で、教育の方へは声がかかってきていませんので、出席はしておりません。

橋爪委員： この事業は、教育の分野でも一緒に考えて行くと良いのかと思いますが、関わりを持たなくても良いのでしょうか。学齢期のことは関わって行った方が良いと思います。

吉澤部長： 子ども課にも話をして今後の関わり方について考えたいと思います。

小野委員： ホームページを見ると、まなびいスタッフの部分を見ても、そこについては該当が無しと出ている、一方で行事の所にはまなびいスタッフ募集が載っている。もう少しリンクがうまくできればと思います。

両角主幹： まだ新しいホームページに移行したばかりで、見にくい部分が多々あるかと思うので、改善をしてみたいです。

倉田職務代理： 予約システムはとても使いやすいと感じます。

草間委員長： 本日子定していた内容は以上となります。これをもちまして、6月の定例教育委員会を終了とします。

終了15時45分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成27年7月6日

署名委員

倉田啓子

署名委員

岩本博行

調製職員

吉澤洋人